



2024年7月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年3月13日

上場会社名 株式会社ベストワンドットコム
コード番号 6577 URL <http://www.best1cruise-corp.info/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 澤田秀太
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 国門量祐

TEL 03-5312-6247

四半期報告書提出予定日 2024年3月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年7月期第2四半期の連結業績(2023年8月1日～2024年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第2四半期	1,268	475.6	63		53		53	
2023年7月期第2四半期	220	160.9	87		90		90	

(注) 包括利益 2024年7月期第2四半期 53百万円 (%) 2023年7月期第2四半期 91百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2024年7月期第2四半期	37.23	
2023年7月期第2四半期	68.08	

(注) 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2024年7月期第2四半期	2,814		768		27.2
2023年7月期	2,661		716		26.7

(参考) 自己資本 2024年7月期第2四半期 764百万円 2023年7月期 711百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2023年7月期		0.00		0.00	0.00
2024年7月期		0.00			
2024年7月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年7月期の連結業績予想(2023年8月1日～2024年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	2,000 ～3,250	50.2 ～144.1	100 ～300		75 ～275	

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8頁「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年7月期2Q	1,469,360 株	2023年7月期	1,407,560 株
期末自己株式数	2024年7月期2Q	13,786 株	2023年7月期	13,786 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年7月期2Q	1,444,641 株	2023年7月期2Q	1,332,419 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますので、ご了承ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社を取り巻く経営環境は、不安定な国際情勢、円安・物価の高騰等により良好な見通しとは言えない状況ではありますが、昨年3月から運航を再開している日本発着外国船の需要が高い状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、当社単独でチャーターする2024年6月15日出発と6月19日出発のコスタセレーナ金沢発着クルーズのPR活動や販売活動、その他の日本発着外国船を中心としたクルーズ旅行の販促、「謹賀新年総額1億円スーパー還元お年玉セール2024年」等のお得なキャンペーンの実施等を行ってまいりました。6月出発のチャータークルーズに関しては、引き続き、テレビCMやラジオCM、新聞での広告掲載、リアルな会場でのセミナー開催等、あらゆる手法でPR活動を行いました。チャータークルーズ以外でも、当社が一部キャビンの買取を行うゴールデンウィークのMSCベリッシマの横浜発着クルーズやMSCベリッシマが冬季に行う横浜発着クルーズや那覇発着クルーズ、春から夏にかけて行われるダイヤモンド・プリンセス日本発着クルーズ等目玉商品が多数あり、それらの販促に力を入れてまいりました。その他、大規模キャンペーンの効果もあり、11月には単月の予約受注額が過去最高を更新（これまでの過去最高は前月2023年10月）し、その後も同じ月としては過去最高の予約受注額となる記録を毎月更新しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,268,126千円（前年同期比475.6%増）、営業損失は63,624千円（前年同期は87,256千円の営業損失）、経常損失は53,002千円（前年同期は90,413千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は53,778千円（前年同期は90,707千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、当社グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超える為、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて152,801千円増加し、2,814,529千円となりました。これは主に、旅行前払金が67,885千円減少した一方で、現金及び預金が124,343千円、未収入金が94,693千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べて99,980千円増加し、2,045,599千円となりました。これは主に、契約負債が16,758千円減少した一方で、長期借入金76,780千円、1年以内返済長期借入金40,248千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べて52,820千円減少し、768,930千円となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入により資本金が53,074千円、資本剰余金が53,074千円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が53,778千円減少したことによるものであります。

(1) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、以下に記載のキャッシュ・フローにより、1,390,862千円となり、前連結会計年度に比べ124,343千円増加いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結会計期間における営業活動による資金収支は89,859千円の支出（前年同四半期は83,004千円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失53,002千円の計上、旅行前払金の減少額67,885千円、未収入金の増加額94,688千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結会計期間における投資活動による資金収支は12,964千円の支出（前年同四半期は11,029千円の支出）となりました。これは固定資産の取得による支出が12,119千円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結会計期間における財務活動による資金収支は221,235千円の収入（前年同四半期は169,079千円の支出）となりました。これは主に長期借入金返済による支出が132,972千円あったものの、長期借入れによる収入が250,000千円、新株予約権の行使による株式の発行による収入が105,446千円あったことによるものであります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月期(通期)の連結業績予想につきましては、2023年9月12日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,220,797	1,345,140
旅行前払金	703,558	635,672
未収入金	116,558	211,251
未収還付法人税等	380	380
その他	54,169	54,247
流動資産合計	2,095,464	2,246,693
固定資産		
有形固定資産	139,532	137,794
無形固定資産		
のれん	36,616	34,775
その他	87,269	91,396
無形固定資産合計	123,886	126,172
投資その他の資産	300,007	300,097
固定資産合計	563,426	564,063
繰延資産	2,837	3,772
資産合計	2,661,728	2,814,529

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	232,532	272,780
未払金	34,300	33,200
未払法人税等	6,645	3,436
役員賞与引当金	—	4,125
契約負債	861,908	845,150
その他	13,194	13,064
流動負債合計	1,148,581	1,171,757
固定負債		
長期借入金	785,891	862,671
その他	11,145	11,170
固定負債合計	797,037	873,841
負債合計	1,945,618	2,045,599
純資産の部		
株主資本		
資本金	474,953	528,027
資本剰余金	391,453	444,527
利益剰余金	△116,002	△169,780
自己株式	△35,280	△35,280
株主資本合計	715,123	767,494
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,574	△3,322
その他の包括利益累計額合計	△3,574	△3,322
新株予約権	4,561	4,758
純資産合計	716,109	768,930
負債純資産合計	2,661,728	2,814,529

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)
売上高	220,305	1,268,126
売上原価	173,184	1,091,266
売上総利益	47,120	176,860
販売費及び一般管理費	134,377	240,484
営業損失(△)	△87,256	△63,624
営業外収益		
受取利息	1,102	1,351
為替差益	592	5,932
受取配当金	0	0
助成金収入	36	—
補助金収入	—	8,340
ポイント収入額	1,234	556
その他	189	65
営業外収益合計	3,156	16,245
営業外費用		
支払利息	3,719	3,590
新株予約権発行費償却	892	1,205
投資事業組合運用損	1,700	828
営業外費用合計	6,312	5,624
経常損失(△)	△90,413	△53,002
税金等調整前四半期純損失(△)	△90,413	△53,002
法人税等	294	775
四半期純損失(△)	△90,707	△53,778
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△90,707	△53,778

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)
四半期純損失(△)	△90,707	△53,778
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,273	252
その他の包括利益合計	△1,273	252
四半期包括利益	△91,981	△53,526
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△91,981	△53,526
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第2四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)	
税金費用の計算	税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)

当社グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)

当社グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は次のとおりであります。

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)
海外旅行	64,663	1,192,095
国内旅行	139,509	60,110
その他	16,131	15,920
顧客との取引から生じる収益	220,305	1,268,126
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	220,305	1,268,126

(重要な後発事象)

該当事項はありません。